

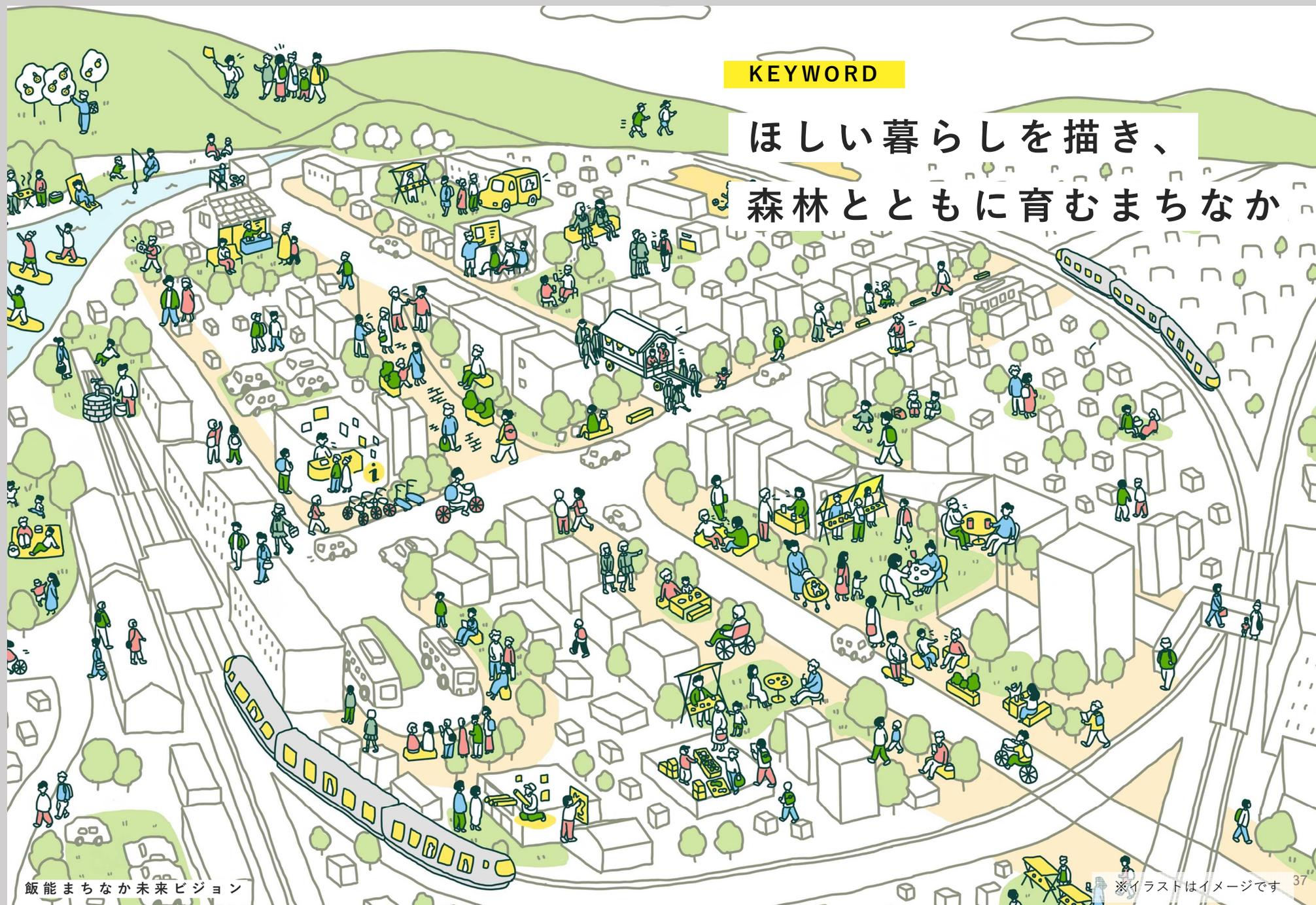
Chapter 3

まちなかの目指す姿

- _ キーワード
- _ まちなかの未来を形成する3つのSTEP
- _ まちなかの未来を実現する5つの視点とアクション
- _ まちなかの4つのエリアの特徴と方向性

KEYWORD

ほしい暮らしを描き、
森林とともに育むまちなか



まちなかの未来を形成する3つのSTEP

「安全に」「快適に」「楽しく」過ごしたくなるまちなかへ

まちなかを人中心の空間へ転換し、「居心地が良く歩きたくなるまちなか」を形成していくには、①**安全に過ごせる**・②**快適に過ごせる**・③**楽しく過ごせる**の3つのステップを意識する必要があります。

これにより、多様な人々の出会い・交流を通じた新たな共創の創出や人中心の豊かな生活を実現し、まちの魅力が向上することで、市内外の多様な人材、関係人口を更にひきつける好循環が確立されたまちなかを目指します。

STEP 1

安全な都市環境



誰にとっても安全安心に歩き、過ごすことのできる都市環境を整備します。

STEP 2

快適な都市環境



快適に巡れる環境をつくるための交通施策、森林文化を感じられる街路、まちなかの整備などを推進します。

STEP 3

多様な楽しさのある 居場所・目的地



公共空間や空き地、空き家、空き店舗などの活用を促進し、日常的に訪れたい居場所・目的地を増やします。

まちなかの未来を実現する5つの視点とアクション

視点
01

居心地が良く歩きたくなる
都市環境の充実



- ・だれもが安全安心に利用できるまちづくり
- ・車中心の空間から人中心の空間への転換
- ・まちなかの回遊性の向上

視点
02

水と緑、歴史や文化
を感じられる空間づくり



- ・水や緑のある癒しの空間づくり
- ・歴史や文化と新たな魅力が融合したまちなみ景観づくり
- ・一息つける、集える憩いの空間づくり

視点
03

まちなかで暮らす・働く
にぎわいの創出



- ・新たな魅力ある空間を生み出す空きを活用
- ・にぎわいのにじみ出しによる駅からまちなかへの動線づくり
- ・まちなか居住の促進

視点
04

多様なつながりが生まれる
きっかけづくり



- ・地域の多様なプレーヤーの発掘と交流
- ・多様な人を受け入れる居場所づくり
- ・まちなかに住む、働く、通う人たちとの出会いの機会づくり

視点
05

柔軟なアイデアが出会う
共創の機会づくり



- ・新たなチャレンジが生まれる場をつくる
- ・創造力を刺激するモノ、コトが出会う場をつくる
- ・小さく始めて育てる、稼ぐ力の創出

居心地が良く歩きたくなる都市環境の充実

STEP 1
安全な都市環境STEP 2
快適な都市環境STEP 3
多様な楽しさのある
居場所・目的地

まちなかでの活発な動きを支えるには、土台となる安全な都市環境の整備が重要です。身の危険を感じずに安全安心に利用することができるまちなかを目指し、まちへの適切な更新投資を継続的に実施します。

アクションプラン

- ・ 歩道の凸凹や段差を解消する歩行者にやさしい道路空間の整備
- ・ 歩行者の滞在を促進する歩道空間の整備
- ・ 無電柱化による支障物の解消
- ・ まちなかの回遊性を高める自転車レーンの整備
- ・ 駐車場の適正配置や一般車両の交通動線の見直し
- ・ 誰もが安心して利用できるバリアフリートイレの整備と適正配置

効果

- ・ 安全安心なまちづくり
- ・ 防災・減災
- ・ 景観づくり
- ・ まちなか回遊性の向上
- ・ 車中心から人中心への転換



自転車通行空間の整備、歩道拡幅、滞在空間創出（大阪府大阪市）



ファニチャーの設置により座って寛げるようになった滞在性の高い歩道空間（兵庫県姫路市）

水と緑、歴史や文化を感じられる空間づくり

STEP 1
安全な都市環境STEP 2
快適な都市環境STEP 3
多様な楽しさのある
居場所・目的地

「森林文化都市 はんのう」を体現すべく、まちなかでも水と緑、歴史や文化を感じながら、生き生きと過ごせる空間づくりを目指します。

アクションプラン

- ・ はしらベンチなどの西川材を活用した空間づくり
- ・ 歩道や軒先での植樹など緑ある空間づくり
- ・ 水辺や日陰、井戸などを活用したオアシスづくり
- ・ 路地や空き地、駐車場などを活用した憩いの空間づくり
- ・ 公園や広場、ポケットパークなどの整備
- ・ 歴史的建造物のリノベーションなどによる活用促進

効果

- ・ 憩いの空間づくり
- ・ 水と緑の空間づくり
- ・ 景観づくり
- ・ にぎわい創出



まちなかの憩いの場として整備された南池袋公園（東京都豊島区）



街路樹のあるまちなみ（福岡県福岡市）

多くの市民の暮らしと関わりのある駅や商業施設とまちなかを「住」「働」「遊」といった暮らしの要素でつなぎ、まちなかの暮らしが豊かで魅力的なものになることを目指します。

アクションプラン

- にぎわいがにじみ出す建物1階部分の活用※1
- 駅からまちなかへの動線づくり
- 歩道や駅の自由通路、広場などの空きを活用した日常的なにぎわいを生み出すイベントなどの実施
- 歩行者の利便増進を図る道路空間づくり（ほこみち※2）
- 空き店舗のリノベーションによる出店の促進
- ウォーキングなどの健康づくりに取り組める環境づくり
- 駅近の保育・託児施設の充実
- コンパクトな市街地形成によるまちなか居住の促進

効果

- にぎわいの創出
- 憩いの空間づくり
- 遊休不動産の有効活用
- 新たなチャレンジの創出
- 生活の質の向上
- まちなか居住の促進

※1 沿道のデザインによる
“にじみ出し”

居心地が良く歩きたくなるまちなかの実現には、沿道を一体的に捉えたデザインによる“にじみ出し”が重要です。街路を単に路面上だけでなく、沿道等も含め、人の視界に入る空間全体を一体的に捉え、さらには沿道の民地も含めたトータルなデザインや歩行のみならず滞在・交流といったストリート全体の価値を考えることにより、その効果は大きくなります。



日本大通り（神奈川県横浜市）



店内と屋外の空間がつながるにぎわいのにじみ出し（東京都豊島区）

※2 “ほこみち”とは

ほこみちは「歩行者利便増進道路」の愛称です。制度を利用することで、道路空間を活用する際に必要となる道路占用許可が柔軟に認められるようになり、歩行者にとって便利でにぎわいあふれる空間を創り出すことができます。



大手前通り（兵庫県姫路市）



多様なつながりが生まれるきっかけづくり

STEP 1
安全な都市環境STEP 2
快適な都市環境STEP 3
多様な楽しさのある
居場所・目的地

多様な人が出会い、つながりが生まれることは、まちなかの暮らしが豊かさを生み出す要素の一つです。市内・市外から魅力的な人が訪れ、交わる機会を生み出すことで、関係人口や定住者を増やすことにもつながっていきます。

アクションプラン

- 地域の多様なプレーヤーを紹介するなどのメディアを活用した情報発信
- マルシェの開催など沿線地域を含めた交流の場づくり
- 新たなチャレンジが生まれるコミュニティ・シェアスペースの創出
- 障害のある人や助けを必要とする方、子ども・子育て家族などの様々な方との交流機会の創出
- 公共施設などまちに開かれつながりが生まれる憩いの空間づくり
- 市民のまちづくり活動に対する支援

効果

- シビックプライドの醸成
- 交流機会の創出
- ビジネス拠点の創出
- 憩いの空間づくり



まちなかでのお掃除と交流のプログラム「Cleanup & coffee club（東京都豊島区）」



nest主催によるローカルマーケット（東京都豊島区）

柔軟なアイデアが出会う 共創の機会づくり

STEP 1
安全な都市環境STEP 2
快適な都市環境STEP 3
多様な楽しさのある
居場所・目的地

新たなチャレンジが生まれると、変化の兆しが可視化され、その動きが連鎖してまち全体が活性化していきます。まちなかで多様なアイデアが生まれ、実行する際に共創が生まれるような機会をつくります。

アクションプラン

- ・ プレーヤーと空き店舗がマッチングする仕組みづくり
- ・ 人と人がマッチングするプログラムの開催
- ・ 若者や女性の就業・創業支援と新規創業支援制度の拡充
- ・ サテライトキャンパスなどの学生の拠点やアイデアコンペなどの多様なアイデアに触れる機会づくり
- ・ 包括連携協定締結企業などとの連携事業の創出

効果

- ・ 新たなチャレンジの創出
- ・ 遊休不動産の有効活用
- ・ 交流機会の創出



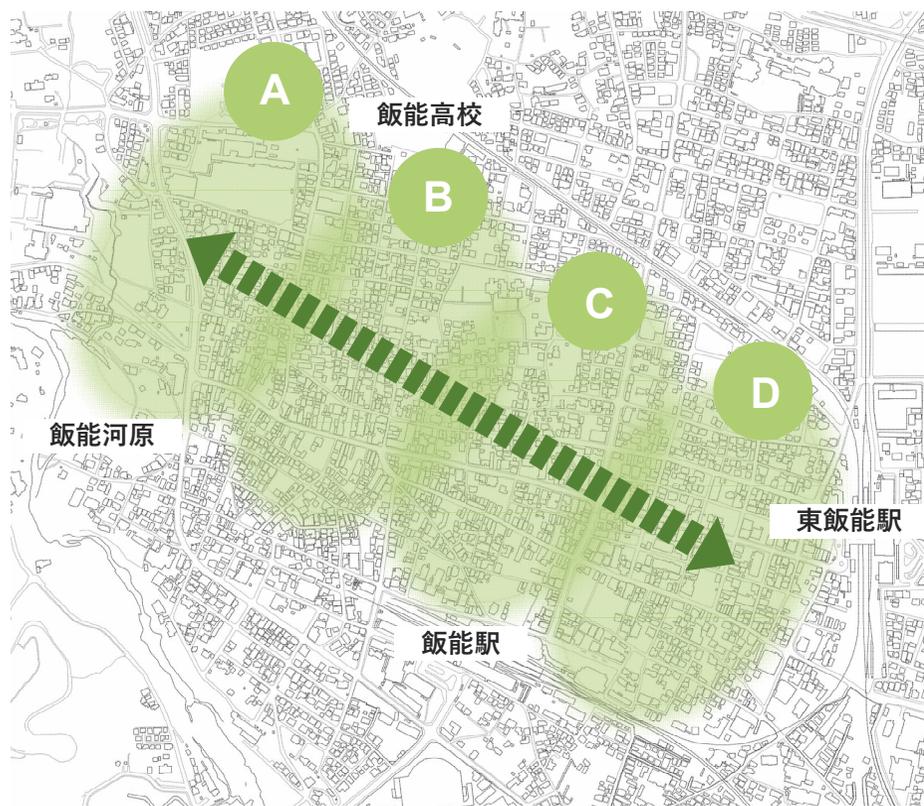
空き店舗活用プラン検討・実践の機会「まちづくりキャンプ（埼玉県川越市）」



生産者・クリエイターマッチングツアー（埼玉県飯能市）

まちなかの4つのエリアの特徴と方向性

まちなかにもひとくくりにはできない多様な姿があり、その特徴に寄り添ってアクションプランを実施していくことが効果的です。4つのエリアごとに、それぞれの特性・潜在力とエリアの方向性をまとめました。



下図：国土地理院地図



飯能河原・文教エリア

豊かな自然が暮らしに溶け込む 新たな公共を育む場



横丁・飯高エリア

路地と小さななりわいが息づく まちなかの暮らしの舞台



飯能駅前西エリア

歴史や文化、新たな兆しを感じさせる 飯能の玄関口



飯能駅東エリア

飯能での暮らしの日常を彩る 人中心のシンボルロード



拠点・エリアのつながり

まちなかでの豊かな暮らしを実現する拠点やエリアのつながり

A 飯能河原・文教委エリア

豊かな自然が暮らしに溶け込む

新たな公共を育む場

特性・潜在力

- 水と緑を感じられる親水空間
- レジャースポットとしてのにぎわい
- 市民会館・博物館・図書館・飯能中央地区行政センターなどの様々な公共施設が近接して立地
- 飯能第一小学校の複合化により新たな拠点が創出

エリアの方向性

- 飯能河原が、水と緑を日常的に感じられる場所として快適に滞在できる環境づくりを促進する。
- 飯能河原への道のりについて、安全安心に歩いて楽しめる歩行環境を創出することや沿道店舗のにじみ出しを進める。
- 公共施設の再編に伴い、利用者が日常的に集うことのできる場をつくる。
- 水と緑の風景を守り、日常的ににぎわいが続いていくための体制を公民連携で構築する。



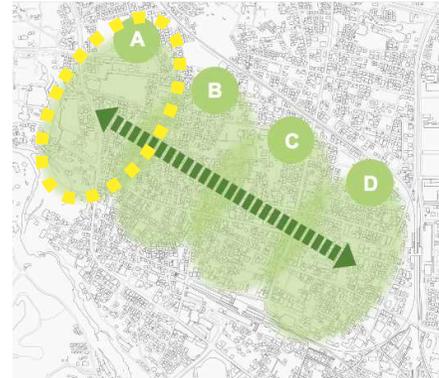
水辺空間を生かしたアクティビティや滞在空間



緑を感じながら日常的に過ごせる公園や広場



日常的に集い交流できる場



B 横丁・飯高エリア

路地と小さななりわいが息づく

まちなかの暮らしの舞台

特性・潜在力

- 魅力ある小規模店舗の立地するヒューマンスケールなエリア
- 歴史的建造物や路地の集積
- 高校生の通学ルート
- 手触り感のある落ち着いた住宅エリア



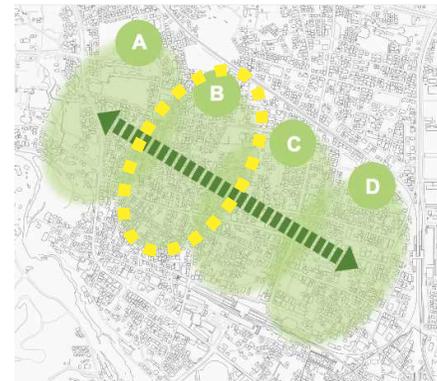
滞在・交流を促す路地空間



まちに開かれた建物の1階部分



屋台やキッチンカーで新たなチャレンジができる場



エリアの方向性

- 街路や軒先、空き地などを活用した憩いの空間づくりなどにより暮らしの環境を向上させる。
- 生活に彩りを与える機能を併せ持った新たな住まいづくりなどをエリアで連携して進める。
- 通学ルートや路地巡りなどが、安全安心に歩いて楽しめる歩行環境を創出する。
- 高校生をはじめとした若い世代が日常的に集い、交わる機会を生む。
- 路地に点在する魅力的な店舗や歴史的建造物を巡り、暮らす人だけでなく訪れる人も楽しむことのできる機会を生む。

C 飯能駅前西エリア

歴史や文化、新たな兆しを予感させる 飯能の玄関口

特性・潜在力

- 空き店舗の活用により特徴的な新たな居場所が連鎖的に展開
- 周辺地域や沿線地域との関係人口が増加
- 歴史的建造物が点在
- 低未利用な空き地や空き家、駐車場が点在

エリアの方向性

- 沿道機能（建物の低層部の用途）のにじみ出しにより通りを歩く人にとっての魅力となる環境をつくる。
- 駅から商店街などへのつながりを意識し、安全かつ快適に巡ることができる歩行環境に向けた取組を行う。
- 空き地や空き家、駐車場を活用し、日常的に集い・遊ぶ場を生み出すための取組を行う。
- 駅前の公共交通や一般車両の交通動線の見直しなど、中長期的に人中心の道路空間への再編を進める。



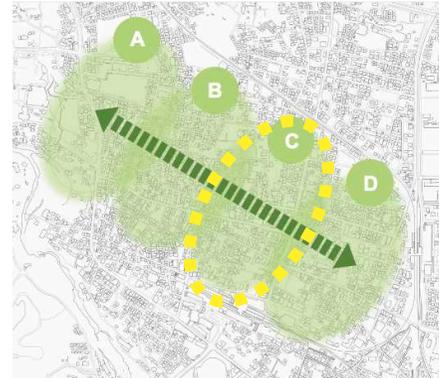
安全かつ楽しく歩ける歩行者のための道路



空き地の活用によるにぎわいの創出



空き店舗を活用したシェアアトリエ



D 飯能駅東エリア

飯能での暮らしの日常を彩る

人中心のシンボルロード

特性・潜在力

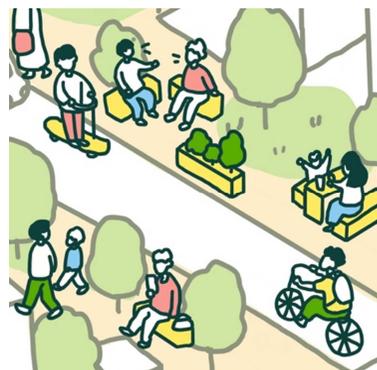
- 久下六道線の道路整備による歩行者・自転車の通行環境の整備
- 高層住宅等の建設によりまちなか居住人口の増加に寄与
- 低未利用な空き地や空き家、駐車場が点在
- 飯能駅から東飯能駅への移動経路



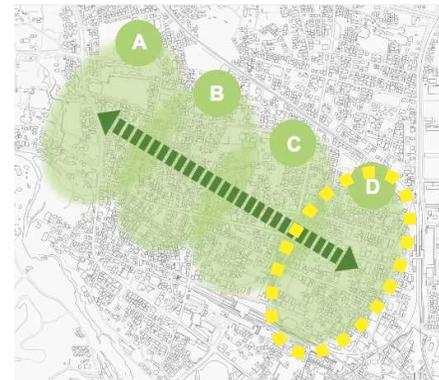
空き地や空き店舗等の活用によるにぎわいの創出



滞在したくなる人中心の歩道空間



安全安心に移動できる通行環境



エリアの方向性

- 飯能駅から東飯能駅への移動経路を中心に、安全安心に移動できるよう歩行者・自転車の通行環境を整備する。
- 沿道機能（建物の低層部の用途）のにじみ出しや景観の配慮により、通りを歩く人にとって魅力ある環境にする。
- 空き地や空き家、駐車場を活用し、日常的に集い、遊ぶ場を生み出すための取組を行う。
- 道路整備により歩行空間が広がるだけでなく空間の質の向上についても検討を行い、歩いて楽しい、そして滞在しても心地よい道路空間の整備を進める。